調査結果

1　サンプル特性

（１）居住地区

回答者の居住地区について尋ねたところ、回答率は中央地区が４６．０％と最も多く、次いで、高砂地区が４３．３％、本輪西地区が４２．７％となっており、その他の地区については、次のとおりとなっています。

居住区	全体			単身世帯以外の者			単身世帯者		
	小計	回答数	回答率 (%)	小計	回答数	回答率 (%)	小計	回答数	回答率 (%)
1. 祝津地区	150	62	41.3	100	40	40.0	50	22	44.0
2. 中央地区	150	69	46.0	100	44	44.0	50	25	50.0
3. 母恋地区	150	60	40.0	100	37	37.0	50	23	46.0
4. 輪西地区	150	55	36.7	100	30	30.0	50	25	50.0
5. 東地区	150	55	36.7	100	32	32.0	50	23	46.0
6. 中島地区	150	53	35.3	100	39	39.0	50	14	28.0
7. 高砂地区	150	65	43.3	100	35	35.0	50	30	60.0
8. 本輪西地区	150	64	42.7	100	37	37.0	50	27	54.0
9. 白鳥台地区	150	49	32.7	100	35	35.0	50	14	28.0
合計	1350	532	39.4	900	329	36.6	450	203	45.1

（２）　性別

回答者の性別について尋ねたところ、回答率は女性が５６．２％、男性が４３．８％となっています。

	平成25年						平成22年					
	男		女		合計		男		女		合計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1. 祝津地区	30	48.4	32	51.6	62	100	16	20.0	64	80.0	80	100
2. 中央地区	21	30.4	48	69.6	69	100	23	32.9	47	67.1	70	100
3. 母恋地区	30	50.0	30	50.0	60	100	25	37.3	42	62.7	67	100
4. 輪西地区	24	43.6	31	56.4	55	100	29	44.6	36	55.4	65	100
5. 東地区	21	38.2	34	61.8	55	100	29	46.0	34	54.0	63	100
6. 中島地区	27	50.9	26	49.1	53	100	30	41.1	43	58.9	73	100
7. 高砂地区	30	46.2	35	53.8	65	100	27	38.6	43	61.4	70	100
8. 本輪西地区	30	46.9	34	53.1	64	100	27	36.5	47	63.5	74	100
9. 白鳥台地区	20	40.8	29	59.2	49	100	21	30.0	49	70.0	70	100
合 計	233	43.8	299	56.2	532	100	227	35.9	405	64.1	632	100

（３） 年齢

回答者の年齢について尋ねたところ、回答率は６０代以上が５８．１％と最も多く、次いで　５０代が１４．３％、４０代が１１．８％、３０代が１０．３％、２０代が４．３％、１０代が１．１％の順となっています。

	～19歳		20歳～29歳		30歳～39歳		40歳～49歳		50歳～59歳		60歳～		未回答		合計	
	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年
	%		%		%		%		%		%		%		%	
祝津地区	0.0	0.0	1.6	6.3	8.1	8.8	16.1	13.8	16.1	15.0	58.1	55.0	0.0	1.3	100.0	100.0
中央地区	0.0	0.0	2.9	5.7	11.6	11.4	15.9	7.1	18.8	18.6	50.7	55.7	0.0	1.4	100.0	100.0
母恋地区	0.0	0.0	5.0	13.4	16.7	11.9	11.7	13.4	10.0	20.9	56.7	38.8	0.0	1.5	100.0	100.0
輪西地区	0.0	0.0	7.3	3.1	5.5	9.2	7.3	12.3	5.5	16.9	74.5	56.9	0.0	1.5	100.0	100.0
東地区	1.8	0.0	3.6	14.3	12.7	12.7	14.5	12.7	10.9	19.0	56.4	41.3	0.0	0.0	100.0	100.0
中島地区	1.9	0.0	5.7	13.7	13.2	17.8	17.0	15.1	18.9	16.4	43.4	35.6	0.0	1.4	100.0	100.0
高砂地区	4.6	0.0	10.8	11.4	15.4	17.1	4.6	14.3	10.8	15.7	53.8	41.4	0.0	0.0	100.0	100.0
本輪西地区	1.6	0.0	1.6	4.1	4.7	9.5	7.8	14.9	14.1	16.2	70.3	55.4	0.0	0.0	100.0	100.0
白鳥台地区	0.0	0.0	0.0	4.3	4.1	11.4	12.2	11.4	24.5	24.3	59.2	48.6	0.0	0.0	100.0	100.0
合計	1.1	0.0	4.3	8.4	10.3	12.2	11.8	12.8	14.3	18.0	58.1	47.8	0.0	0.8	100.0	100.0

（４） 職業

回答者の職業について尋ねたところ、回答率は無職が２９．５％、会社員・公務員が２６．３％、主婦が２５．４％、その他（パートなど）が１０．２％、自営業が７．０％、学生が１．７％の順となっています。

	会社員･公務員		自営業		学生		主婦		無職		その他		未回答		合計	
	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年	25年	22年
	%		%		%		%		%		%		%		%	
祝津地区	27.4	22.5	4.8	1.3	1.6	0.0	24.2	43.8	25.8	22.5	16.1	10.0	0.0	0.0	100.0	100.0
中央地区	27.5	25.7	8.7	5.7	0.0	0.0	30.4	34.3	18.8	28.6	14.5	2.9	0.0	2.9	100.0	100.0
母恋地区	26.7	20.9	5.0	10.4	0.0	0.0	21.7	26.9	40.0	29.9	6.7	10.4	0.0	1.5	100.0	100.0
輪西地区	20.0	16.9	9.1	9.2	0.0	1.5	20.0	23.1	45.5	30.8	5.5	16.9	0.0	1.5	100.0	100.0
東地区	30.9	34.9	7.3	7.9	0.0	1.6	32.7	27.0	21.8	22.2	7.3	6.3	0.0	0.0	100.0	100.0
中島地区	34.0	35.6	3.8	4.1	1.9	0.0	34.0	32.9	17.0	20.5	9.4	6.8	0.0	0.0	100.0	100.0
高砂地区	24.6	27.1	13.8	1.4	10.8	5.7	16.9	38.6	24.6	21.4	9.2	5.7	0.0	0.0	100.0	100.0
本輪西地区	23.4	27.0	4.7	2.7	0.0	0.0	23.4	36.5	42.2	24.3	6.3	9.5	0.0	0.0	100.0	100.0
白鳥台地区	22.4	24.3	4.1	2.9	0.0	0.0	26.5	42.9	30.6	25.7	16.3	4.3	0.0	0.0	100.0	100.0
合計	26.3	26.1	7.0	4.9	1.7	0.9	25.4	34.3	29.5	25.0	10.2	8.1	0.0	0.6	100.0	100.0

（５） 配偶者の有無

回答者に配偶者がいるかどうかについて尋ねたところ、回答率は「いる」が６１．８％、「いない」が３８．２％となっています。

	いる				いない				全　体			
	25年		22年		25年		22年		25年		22年	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
祝津地区	40	64.5	57	71.3	22	35.5	23	28.8	62	100.0	80	100.0
中央地区	44	63.8	51	72.9	25	36.2	19	27.1	69	100.0	70	100.0
母恋地区	37	61.7	47	70.1	23	38.3	20	29.9	60	100.0	67	100.0
輪西地区	30	54.5	45	69.2	25	45.5	20	30.8	55	100.0	65	100.0
東地区	32	58.2	42	66.7	23	41.8	21	33.3	55	100.0	63	100.0
中島地区	39	73.6	54	74.0	14	26.4	19	26.0	53	100.0	73	100.0
高砂地区	35	53.8	50	71.4	30	46.2	20	28.6	65	100.0	70	100.0
本輪西地区	37	57.8	59	79.7	27	42.2	15	20.3	64	100.0	74	100.0
白鳥台地区	35	71.4	56	80.0	14	28.6	14	20.0	49	100.0	70	100.0
合計	329	61.8	461	72.9	203	38.2	171	27.1	532	100.0	632	100.0

２　商品別の買い物先と今後の買い物回数

世帯における日常の買い物先と今後の買い物回数について尋ねたところ、全品目で市内および市外の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、それぞれ次のとおりとなっています。

全品目（市内）

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
モルエ中島	911	17.1	モルエ中島	1181	18.7
東地区大型店	753	14.2	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	823	13.0
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	646	12.1	東地区大型店	738	11.7
中島地区大型店	635	11.9	中島地区大型店	731	11.6
中央地区大型店	275	5.2	中央地区大型店	655	10.4

前回調査と比べると、市内では、２位であった弥生ショッピングセンターと３位であった東地区大型店の順位がそれぞれ入れ替わっています。

全品目(市外)

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
札幌市	269	5.1	札幌市	349	5.5
登別商業ゾーン	104	2.0	登別商業ゾーン	131	2.1
苫小牧市	49	0.9	苫小牧市	76	1.2
その他市町村	37	0.7	その他市町村	29	0.4
伊達市大型店	30	0.6	伊達市大型店	27	0.4

前回調査と比べると市外では同じ順位となっています。

全品目(通信販売等)

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
通信販売	180	3.4	通信販売	154	2.4
宅配サービス	22	0.4	宅配サービス	24	0.4
移動販売	1	0.0	移動販売	0	0.0

前回調査と比べると、通信販売等では同じ順位となっています。

また、世帯における日常の買い物先と今後の買い物回数について、商品別に尋ねたところ、それぞれ次のとおりとなっています。

（１）生鮮食料品（肉、魚、野菜）

生鮮食料品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、中島地区大型店に替わり輪西地区のぷらっと・てついちが９．２％で４位、本輪西地区大型店に替わり中島地区大型店が７．５％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
中央地区大型店	90	17.0	中央地区大型店	101	16.0
モルエ中島	85	16.0	モルエ中島	93	14.7
東地区大型店	58	10.9	東地区大型店	67	10.6
ぷらっと･てついち	49	9.2	中島地区大型店	61	9.6
中島地区大型店	40	7.5	本輪西地区大型店	45	7.1

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が８５．０％と最も多く、次いで「減る」が９．２％、「未回答」が３．９％となっており、前回調査と比べると、「減る」が０．８ポイント、「増える」が１．３ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	452	85.0	555	87.8	△ 103	△ 2.8
減る	49	9.2	53	8.4	△ 4	0.8
増える	10	1.9	4	0.6	6	1.3
未回答	21	3.9	20	3.2	1	0.7

(２)一般食料品（加工品、酒、パン、調味料など）

一般食料品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、中島地区大型店に替わりぷらっと・てついちが８．６％で４位、本輪西地区大型店に替わり中島地区大型店が６．８％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
中央地区大型店	96	18.0	中央地区大型店	110	17.4
モルエ中島	90	16.9	モルエ中島	93	14.7
東地区大型店	66	12.4	東地区大型店	71	11.2
ぷらっと･てついち	46	8.6	中島地区大型店	63	10.0
中島地区大型店	36	6.8	本輪西地区大型店	46	7.3

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が８６．１％と最も多く、次いで「減る」が８．６％、「未回答」が３．４％となっており、前回調査と比べると、「減る」が２．４ポイント、「増える」が１．０ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	458	86.1	559	88.4	△ 101	△ 2.3
減る	46	8.6	39	6.2	7	2.4
増える	10	1.9	6	0.9	4	1.0
未回答	18	3.4	28	4.4	△ 10	△ 1.0

(３)日用雑貨（石鹸、ちり紙、食器、鍋釜など）

日用雑貨の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、２位であったモルエ中島と３位であった中央地区大型店の順位が、それぞれ入れ替わり、東地区大型店に替わり祝津地区大型店が７．７％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	117	22.0	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	192	30.4
中央地区大型店	66	12.4	モルエ中島	81	12.8
モルエ中島	65	12.2	中央地区大型店	72	11.4
中島地区大型店	55	10.3	中島地区大型店	64	10.1
祝津地区大型店	41	7.7	東地区大型店	47	7.4

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が８２．０％と最も多く、次いで「減る」が１２．０％、「未回答」が４．１％となっており、前回調査と比べると、「減る」が３．９ポイント、「増える」が１．６ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	436	82.0	546	86.4	△ 110	△ 4.4
減る	64	12.0	51	8.1	13	3.9
増える	10	1.9	2	0.3	8	1.6
未回答	22	4.1	33	5.2	△ 11	△ 1.1

(４)実用衣料（下着、家の中で着る服など）

実用衣料の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、３位であった中央地区大型店が圏外となり、東地区大型店が２１．８％と弥生ショッピングセンターが１４．５％とそれぞれ１位と３位に繰り上がり、通信販売が５．１％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
東地区大型店	116	21.8	中島地区大型店	127	20.1
中島地区大型店	95	17.8	モルエ中島	106	16.8
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	77	14.5	中央地区大型店	92	14.6
モルエ中島	76	14.3	東地区大型店	88	13.9
通信販売	27	5.1	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	63	9.9

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が６７．７％と最も多く、次いで「減る」が２７．１％、「未回答」が４．１％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１０．０ポイント増加、「増える」が１．１ポイント減少しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	360	67.7	477	75.5	△ 117	△ 7.8
減る	144	27.1	108	17.1	36	10.0
増える	6	1.1	14	2.2	△ 8	△ 1.1
未回答	22	4.1	33	5.2	△ 11	△ 1.1

（５）高級衣料（紳士婦人服、呉服、旅行衣料など）

高級衣料の買い物先として回答が多かった順に上位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、札幌市に替わり東地区大型店が２０．９％で１位に、札幌市とモルエ中島と中島地区大型店はそれぞれ１つ順位を下げ、中央地区大型店に替わり通信販売が３．８％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
東地区大型店	111	20.9	札幌市	113	17.9
札幌市	91	17.1	モルエ中島	96	15.2
モルエ中島	75	14.1	中島地区大型店	93	14.7
中島地区大型店	61	11.5	東地区大型店	88	13.9
通信販売	20	3.8	中央地区大型店	49	7.7

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が４６．６％と最も多く、次いで「減る」が４４．４％、「未回答」が７．５％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１４．７ポイント増加、「増える」が１．０ポイント減少しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	248	46.6	350	55.4	△ 102	△ 8.8
減る	236	44.4	188	29.7	48	14.7
増える	8	1.5	16	2.5	△ 8	△ 1.0
未回答	40	7.5	78	12.3	△ 38	△ 4.8

(６)身の回り品（靴、カバン、装飾品など）

身の回り品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、中島地区大型店に替わり東地区大型店が１８．０％で１位に、中島地区大型店とモルエ中島と札幌市はそれぞれ１つ順位を下げ、中央地区大型店に替わり　弥生ショッピングセンターが５．１％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
東地区大型店	96	18.0	中島地区大型店	106	16.8
中島地区大型店	79	14.9	モルエ中島	100	15.8
モルエ中島	74	13.9	札幌市	96	15.2
札幌市	68	12.8	東地区大型店	81	12.8
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	27	5.1	中央地区大型店	60	9.4

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が５２．６％と最も多く、次いで「減る」が４０．２％、「未回答」が５．６％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１０．６ポイント増加、「増える」が１．３ポイント減少しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	280	52.6	377	59.7	△ 97	△ 7.1
減る	214	40.2	187	29.6	27	10.6
増える	8	1.5	18	2.8	△ 10	△ 1.3
未回答	30	5.6	50	7.9	△ 20	△ 2.3

（７）家庭耐久品（電気製品、家具、インテリアなど）

家庭耐久品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、高砂地区大型店に替わり中島地区大型店が１３．５％で３位に、中島地区大型店移行に替わり通信販売が５．５％で４位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	191	35.9	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	248	39.2
モルエ中島	109	20.5	モルエ中島	161	25.5
中島地区大型店	72	13.5	高砂地区大型店	29	4.6
通信販売	29	5.5	中島地区大型店	28	4.4
札幌市	10	1.9	札幌市	25	4.0

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が５４．７％と最も多く、次いで「減る」が３７．４％、「未回答」が６．４％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１３．３ポイント、「増える」が０．６ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	291	54.7	428	67.7	△ 137	△ 13.0
減る	199	37.4	152	24.1	47	13.3
増える	8	1.5	6	0.9	2	0.6
未回答	34	6.4	46	7.3	△ 12	△ 0.9

(８)文化品（書籍、時計、メガネ、カメラなど）

文化品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、中央地区大型店に替わり東地区大型店が８．１％で４位に、東地区大型店に替わり札幌市が５．１％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
モルエ中島	121	22.7	モルエ中島	169	26.7
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	96	18.0	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	114	18.0
中島地区大型店	82	15.4	中島地区大型店	84	13.3
東地区大型店	44	8.3	中央地区大型店	50	7.9
札幌市	27	5.1	東地区大型店	47	7.4

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が５６．４％と最も多く、次いで「減る」が３４．８％、「未回答」が７．９％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１１．７ポイント、「増える」が０．３ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	300	56.4	418	66.1	△ 118	△ 9.7
減る	185	34.8	146	23.1	39	11.7
増える	5	0.9	4	0.6	1	0.3
未回答	42	7.9	64	10.1	△ 22	△ 2.2

（９）レジャー品（運動用品、キャンプ用品、ＣＤなど）

レジャー品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、東地区大型店に替わり中島地区大型店が７．３％で３位に、中島地区大型店に替わり東地区大型店が５．１％で４位に、中央地区大型店に替わり通信販売が４．７％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
モルエ中島	179	33.6	モルエ中島	245	38.8
弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	89	16.7	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	125	19.8
中島地区大型店	39	7.3	東地区大型店	41	6.5
東地区大型店	27	5.1	中島地区大型店	29	4.5
通信販売	25	4.7	中央地区大型店	25	3.9

また、今後の購買動向については、「変わらない」が４３．８％と最も多く、次いで「減る」が４２．９％、「未回答」が１２．０％となっており、前回調査と比べると、「減る」が１７．９ポイント、「増える」が０．８ポイント増加しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	233	43.8	372	58.9	△ 139	△ 15.1
減る	228	42.9	158	25.0	70	17.9
増える	7	1.3	3	0.5	4	0.8
未回答	64	12.0	99	15.7	△ 35	△ 3.7

（１０）贈答用品（中元、歳暮、入学祝など）

贈答用品の買い物先として回答が多かった順に上位５位までは、次のとおりとなっています。

前回調査と比べると、中央地区大型店に替わりモルエ中島が６．９％で３位に、札幌市に替わり通信販売が６．２％で４位に、モルエ中島に替わり札幌市が５．５％で５位となっています。

平成25年			平成22年		
買い物先	回答数	%	買い物先	回答数	%
東地区大型店	191	35.9	東地区大型店	195	30.9
中島地区大型店	76	14.3	中島地区大型店	76	12.0
モルエ中島	37	6.9	中央地区大型店	72	11.4
通信販売	33	6.2	札幌市	41	6.5
札幌市	29	5.5	モルエ中島	37	5.8

また、今後の買い物回数については、「変わらない」が５７．５％と最も多く、次いで「減る」が３３．３％、「未回答」が７．９％となっています。

前回調査と比べると、「減る」が１０．２ポイント増加、「増える」が１．４ポイント減少しています。

今後の買い物回数	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
変わらない	306	57.5	373	59.0	△ 67	△ 1.5
減る	177	33.3	146	23.1	31	10.2
増える	7	1.3	17	2.7	△ 10	△ 1.4
未回答	42	7.9	96	15.2	△ 54	△ 7.3

３　長崎屋室蘭中央店閉店の影響

（１）長崎屋室蘭中央店の利用状況

平成２４年８月末に閉店した長崎屋室蘭中央店を利用していたか尋ねたところ、「利用していた」は５５.５％で、「利用していなかった」４２．４％を１３．１ポイント上回っていました。

	利用していた		利用していなかった		未回答		総計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
総計	295	55.5	226	42.4	11	2.1	532	100

「利用していた」と回答された方について居住地区別にみると、中央地区が２０．３％と最も多く、次いで祝津地区が１９．０％、母恋地区が１６．３％となっています。

また、「利用していなかった」では、本輪西地区が１９．５％と最も多く、次いで中島地区が１８．１％、高砂地区が１７．７％となっています。

居住地区	利用していた		利用していなかった		未回答	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
祝津地区	56	19.0	6	2.7	0	0.0
中央地区	60	20.3	6	2.7	3	27.3
母恋地区	48	16.3	11	4.9	1	9.1
輪西地区	33	11.2	21	9.3	1	9.1
東地区	20	6.8	34	15.0	1	9.1
中島地区	12	4.1	41	18.1	0	0.0
高砂地区	24	8.1	40	17.7	1	9.1
本輪西地区	18	6.1	44	19.5	2	18.2
白鳥台地区	24	8.1	23	10.2	2	18.2
総計	295	100	226	100	11	100

（２）長崎屋室蘭中央店で主に購入していた商品（複数回答）

問７（１）で長崎屋室蘭中央店を「利用していた」と回答された方に対し、同店で主に購入されていた商品について尋ねたところ、一般食料品が２８．１％と最も多く、次いで実用衣料が２０．２％、生鮮食料品が１８．０％となっています。

商品区分	回答数	%	商品区分	回答数	%
一般食料品	164	28.1	高級衣料	11	1.9
実用衣料	118	20.2	家庭耐久品	8	1.4
生鮮食料品	105	18.0	贈答用品	6	1.0
身の周り品	76	13.0	レジャー品	4	0.7
日用雑貨	73	12.5	未回答	2	0.3
文化品	16	2.7			

（３）長崎屋室蘭中央店閉店後の買い物先

問７（２）で選んだ商品の現在の買い物先について尋ねたところ、モルエ中島が１６．３％と最も多く、次いで東地区大型店が１５．９％、中島地区大型店が１５．２％となっています。

	1位		2位		3位	
市全体	モルエ中島	16.3%	東地区大型店	15.9%	中島地区大型店	15.2%
祝津地区	中央地区大型店	4.1%	東地区大型店	3.2%	祝津地区大型店 モルエ中島	2.8%
中央地区	中央地区大型店	7.3%	東地区大型店	2.3%	中島地区大型店	2.1%
母恋地区	東地区大型店	3.0%	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	2.7%	中央地区大型店	2.5%
輪西地区	東地区大型店	2.3%	中島地区大型店	1.6%	モルエ中島	1.4%
東地区	弥生ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ	2.3%	東地区大型店	1.6%	モルエ中島	1.4%
中島地区	モルエ中島	1.8%	中島地区大型店	1.4%	東地区大型店	0.3%
高砂地区	中島地区大型店	2.1%	モルエ中島	1.8%	登別商業ゾーン	1.1%
本輪西地区	東地区大型店	1.8%	モルエ中島	1.3%	中島地区大型店	0.9%
白鳥台地区	中島地区大型店	3.2%	モルエ中島	2.9%	東地区大型店	0.5%

４　大型店(デパート・総合スーパー)に対する地域貢献活動への期待

（１）　大型店に対する地域貢献へのニーズ(複数回答)

大型店（デパート、総合スーパー）には、地域に対しどのような貢献をして欲しいか尋ねたところ、「地域からの雇用の推進」が２２．７％と最も多く、次いで「撤退時における後継店の早期確保」が１９．３％、「災害時の緊急避難場所や物資の提供」が１７．０％となっています。

大型店に対する地域貢献活動への期待	%
地域からの雇用の推進	22.7
撤退時における後継店の早期確保	19.3
災害時の緊急避難場所や物資の提供	17.0
地元業者の活用	14.5
コミュニティスペースの提供	7.7
地域の行事への参加や協力	6.8
店舗周辺の清掃美化	4.2
防犯･非行防止対策	3.8
未回答	4.1
合計	100

５　宅配サービス・通信販売の利用状況

（１）　宅配サービスの利用回数

宅配サービスの利用回数について尋ねたところ、「利用していない」が６５．８％と最も多く、次いで「週１～２回」が１３．２％、「月２回程度」が５．６％となっています。

利用回数については前回調査と比べて、「週１～２回」が４．５ポイント増加、「月２回程度」が０．９ポイント減少となっています。

利用回数（宅配）	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用していない	350	65.8	360	57.0	△ 10	8.8
週1～2回	70	13.2	55	8.7	15	4.5
月2回程度	30	5.6	41	6.5	△ 11	△ 0.9
未回答	29	5.5	43	6.8	△ 14	△ 1.3
半年に1回程度	18	3.4	68	10.8	△ 50	△ 7.4
月1回程度	16	3.0	33	5.2	△ 17	△ 2.2
その他	13	2.4	13	2.1	0	0.3
2か月に1回程度	6	1.1	19	3.0	△ 13	△ 1.9
合計	532	100	632	100.0	△ 100	0.0

宅配サービスの利用回数で回答が最も多かった「週１～２回」の年齢内訳をみると、６０代以上が８．３％と最も多く、次いで５０代が２．１％、３０代が１．５％となっています。

利用回数(宅配)	調査年	60代以上	50代	40代	30代	20代	10代	未回答
		%	%	%	%	%	%	%
週1～2回	平成25年	8.3	2.1	0.9	1.5	0.2	0.2	0.0
	平成22年	4.0	1.1	2.4	0.9	0.2	0.0	0.2
月2回程度	平成25年	3.9	0.2	0.8	0.2	0.6	0.0	0.0
	平成22年	3.3	1.3	0.5	0.9	0.5	0.0	0.0
月1回程度	平成25年	2.1	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成22年	2.2	0.6	0.6	0.6	1.1	0.0	0.0
2か月に1回程度	平成25年	0.6	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
	平成22年	0.9	0.5	0.5	0.5	0.6	0.0	0.0
半年に1回程度	平成25年	2.4	0.8	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成22年	4.7	2.1	0.8	1.9	1.3	0.0	0.0
その他	平成25年	2.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0
	平成22年	1.3	0.5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0
利用していない	平成25年	34.2	10.2	9.4	7.7	3.6	0.8	0.0
	平成22年	27.1	10.8	7.9	6.8	4.3	0.0	0.2
未回答	平成25年	4.3	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2
	平成22年	4.3	1.3	0.2	0.2	0.5	0.0	0.5
総計	平成25年	58.1	14.5	11.9	10.2	4.4	1.2	0.2
	平成22年	47.8	18.2	12.9	12.1	8.5	0.0	0.9

（２） 宅配サービスにより主に購入している商品（複数回答）

宅配サービスにより主に購入している商品について尋ねたところ、一般食料品が３２．６％と最も多く、次いで日用雑貨が２３．８％、生鮮食料品が１６．２％となっています。

	生鮮食料品	一般食料品	日用雑貨	実用衣料	高級衣料	身の回り品	家庭耐久品	文化品	レジャー品	贈答品
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年	16.2	32.6	23.8	5.6	0.9	7.9	5.0	1.5	1.5	5.0
平成22年	15.0	26.9	16.0	11.5	2.2	9.0	4.2	2.7	4.0	8.5
増　減	1.2	5.7	7.8	▲ 5.9	▲ 1.3	▲ 1.1	0.8	▲ 1.2	▲ 2.5	▲ 3.5

（３） 通信販売の利用回数

通信販売(インターネット、カタログ通販など)の利用回数について尋ねたところ、「利用していない」が４０．２％と最も多く、次いで「半年に１回程度」が１８．２％、「２か月に１回程度」が１０．２％となっています。

利用回数については前回調査と比べて、「半年に１回程度」が３．０ポイント減少「２か月に１回程度」が１．２ポイント増加となっています。

利用回数（通販）	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
利用していない	214	40.2	253	40.0	△ 39	0.2
半年に1回程度	97	18.2	134	21.2	△ 37	△ 3.0
2か月に1回程度	54	10.2	57	9.0	△ 3	1.2
月1回程度	50	9.4	74	11.7	△ 24	△ 2.3
月2回程度	38	7.1	30	4.7	8	2.4
未回答	37	7.0	51	8.1	△ 14	△ 1.1
その他	26	4.9	22	3.5	4	1.4
週1～2回	16	3.0	11	1.7	5	1.3
合計	532	100.0	632	100.0	△ 100	0.0

通信販売(インターネット、カタログ通販など)の利用回数で回答が最も多かった「半年に１回程度」について、年齢別の内訳をみると、６０代以上が９．６％と最も多く、次いで４０代が３．２％、３０代が２．６％となっています。

利用回数(通販)	調査年	60代以上	50代	40代	30代	20代	10代	未回答
		%	%	%	%	%	%	%
週1～2回	平成25年	1.5	0.0	0.6	0.6	0.2	0.0	0.2
	平成22年	0.9	0.0	0.2	0.5	0.2	0.0	0.0
月2回程度	平成25年	2.3	1.7	1.7	0.9	0.2	0.0	0.4
	平成22年	0.9	0.8	0.9	0.8	1.3	0.0	0.0
月1回程度	平成25年	1.3	1.9	1.9	2.8	1.3	0.2	0.0
	平成22年	3.2	1.3	2.8	2.2	2.1	0.0	0.2
2か月に1回程度	平成25年	3.9	2.8	1.7	0.6	0.9	0.2	0.0
	平成22年	3.2	2.5	0.5	1.4	1.4	0.0	0.0
半年に1回程度	平成25年	9.6	2.1	3.2	2.6	0.6	0.2	0.0
	平成22年	7.6	4.4	3.5	3.6	2.1	0.0	0.0
その他	平成25年	3.0	0.9	0.0	0.4	0.6	0.0	0.0
	平成22年	1.7	0.8	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0
利用していない	平成25年	29.7	4.7	2.3	2.4	0.8	0.4	0.0
	平成22年	24.5	6.8	4.0	3.3	1.3	0.0	0.2
未回答	平成25年	5.6	0.4	0.2	0.6	0.0	0.2	0.0
	平成22年	5.7	1.4	0.3	0.0	0.2	0.0	0.5
総計	平成25年	57.0	14.5	11.5	10.9	4.5	1.1	0.6
	平成22年	47.7	18.0	12.8	12.1	8.6	0.0	0.9

（４） 通信販売により主に購入している商品（複数回答）

通信販売（インターネット・カタログ販売など）により主に購入している商品について尋ねたところ、実用衣料が２１．０％と最も多く、次いで身の回り品が１５．８％、日用雑貨が１５．５％となっています。前回調査と比べ家庭耐久品が１．５ポイントの増加、実用衣料が１．９ポイントの減少となっています。

	生鮮食品店	一般食料品	日用雑貨	実用衣料	高級衣料	身の回り品	家庭耐久品	文化品	レジャー品	贈答品
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成25年	2.2	6.8	15.5	21.0	4.1	15.8	9.0	9.0	8.7	7.8
平成22年	2.7	7.4	15.4	22.9	5.3	14.9	7.5	8.9	7.7	7.4
増　減	▲ 0.5	▲ 0.6	0.1	▲ 1.9	▲ 1.2	0.9	1.5	0.1	1.0	0.4

６　お住まいの買い物環境

（１） 最も近くにある食料品店

最も近くにある食料品店の状況について尋ねたところ、「コンビニエンスストア」が３８．８％と最も多く、次いで「大型店」が３８．２％、「一般商店」が１５．０％となっています。

前回調査と比べて、「コンビニエンスストア」が６．２ポイント増加、「一般商店」は８．３ポイントの減少となっています。

	平成25年		平成22年		増減	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
コンビニエンスストア	206	38.8	206	32.6	0	6.2
大型店（デパート、総合スーパー）	203	38.2	247	39.1	△ 44	△ 0.9
一般商店	80	15.0	147	23.3	△ 67	△ 8.3
未回答	20	3.8	23	3.6	△ 3	0.2
ドラッグストア	13	2.4	4	0.6	9	1.8
その他	10	1.9	5	0.8	5	1.1
総計	532	100	632	100	△ 100	0.0

（２） 最も近くにある食料品店までの徒歩での所要時間

問１３で選んだ最も近くにある食料品店までの徒歩での所要時間について尋ねたところ、本輪西地区（本輪西町、港北町、高平町、柏木町、陣屋町、幌萌町、神代町、香川町）では、２１分以上が３４．４％、２０分以内が１０．９％、１５分以内が９．４％となっていることから、他の地区と比較して食料品店までの徒歩での所要時間を要する状況となっています。

	5分以内	10分以内	15分以内	20分以内	21分以上	未回答
	%	%	%	%	%	%
祝津地区	40.3	27.4	12.9	8.1	11.3	0.0
中央地区	33.3	27.5	17.4	10.1	5.8	5.8
母恋地区	48.3	36.7	1.7	1.7	8.3	3.3
輪西地区	38.2	21.8	18.2	7.3	10.9	3.6
東地区	47.3	36.4	5.5	3.6	1.8	5.5
中島地区	35.8	37.7	9.4	7.5	1.9	7.5
高砂地区	41.5	30.8	13.8	4.6	7.7	1.5
本輪西地区	25.0	14.1	9.4	10.9	34.4	6.3
白鳥台地区	42.9	16.3	20.4	10.2	10.2	0.0

７　買い物先への交通手段

（１） 自分が住んでいる地区内で買い物をする場合の交通手段

自分が住んでいる地区内で買い物をする場合の交通手段について尋ねたところ、「自家用車・オートバイ」が５３．２％と最も多く、次いで「徒歩・自転車」が３５．０％、「タクシー」が４．５％となっています。

前回調査と比べて、「自家用車・オートバイ」が１．４ポイント減少し、「徒歩・自転車」が４．１ポイント増加となっています。

交通手段	調査年	60代以上	50代	40代	30代	20代	10代	総計
		%	%	%	%	%	%	%
徒歩･自転車	平成25年	36.6	32.9	30.2	29.1	47.8	33.3	35.0
	平成22年	37.4	30.7	23.5	15.6	28.3	0.0	30.9
自家用車･オートバイ	平成25年	46.6	60.5	68.3	67.3	43.5	50.0	53.2
	平成22年	42.4	56.1	69.1	81.8	64.2	0.0	54.6
タクシー	平成25年	7.4	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.5
	平成22年	5.3	1.8	1.2	0.0	1.9	0.0	3.3
バス･ＪＲ	平成25年	3.6	1.3	0.0	0.0	4.3	0.0	2.4
	平成22年	5.6	5.3	4.9	2.6	3.8	0.0	4.9
その他	平成25年	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
	平成22年	1.3	0.9	1.2	0.0	0.0	0.0	0.9
未回答	平成25年	3.9	5.3	0.0	3.6	4.3	16.7	3.8
	平成22年	7.9	5.3	0.0	0.0	1.9	0.0	5.4

（２） 自分が住んでいる地区以外で買い物をする場合の交通手段

自分が住んでいる地区以外で買い物をする場合の交通手段について尋ねたところ、「自家用車・オートバイ」が７０．９％と最も多く、次いで「バス・ＪＲ」が１６．５％、「徒歩・自転車」が３．９％となっています。

前回調査と比べて、「自家用車・オートバイ」が６．８ポイント、「バス・ＪＲ」が２．９ポイント増加となっています。

交通手段	調査年	60代以上	50代	40代	30代	20代	10代	総計
		%	%	%	%	%	%	%
徒歩･自転車	平成25年	5.2	1.3	1.6	0.0	8.7	16.7	3.9
	平成22年	3.3	1.8	3.7	1.3	1.9	0.0	2.7
自家用車･オートバイ	平成25年	59.5	84.2	90.5	89.1	82.6	66.7	70.9
	平成22年	48.7	71.9	81.5	87.0	77.4	0.0	64.1
タクシー	平成25年	5.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	3.4
	平成22年	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
バス･ＪＲ	平成25年	23.3	9.2	4.8	7.3	8.7	0.0	16.5
	平成22年	19.2	10.5	7.4	3.9	13.2	0.0	13.6
その他	平成25年	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
	平成22年	1.7	0.9	2.5	0.0	0.0	0.0	1.3
未回答	平成25年	4.2	5.3	0.0	3.6	0.0	16.7	3.8
	平成22年	22.2	14.9	4.9	7.8	7.5	0.0	15.8

８　地元商店(街)の利用状況

（１）　地元商店（街）での買い物頻度

地元商店（街）の買い物頻度について尋ねたところ、「週１～２回程度」が３４．４％と最も多く、次いで「週３～４回程度」と「利用しない」がそれぞれ１９．０％となっています。

前回調査と比べて、「週１～２回程度」が４．７ポイント、「週３～４回程度」が１．９ポイント減少し、「利用しない」が８．７ポイント増加となっています。

	平成25年	平成22年	増減
	%	%	%
週1～2回程度	34.4	39.1	△ 4.7
週3～4回程度	19.0	20.9	△ 1.9
利用しない	19.0	10.3	8.7
月に数回程度	17.1	15.0	2.1
ほぼ毎日	6.8	10.1	△ 3.3
未回答	3.8	4.6	△ 0.8
合計	100	100	0.0

利用頻度について地区別に見ると、最も多かった「週１～２回程度」では母恋地区が４．９％と最も多く、次いで高砂地区が４．７％、白鳥台地区が４．３％となっています。

地区名	調査年	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月に数回程度	利用しない	未回答	総計
		%	%	%	%	%	%	%
祝津地区	平成25年	0.6	1.5	3.9	2.4	3.0	0.2	11.7
	平成22年	1.1	2.4	4.7	1.9	1.4	1.1	12.7
中央地区	平成25年	1.3	3.2	3.2	1.7	2.8	0.8	13.0
	平成22年	1.6	1.9	3.6	1.9	1.4	0.6	11.1
母恋地区	平成25年	0.6	1.5	4.9	1.5	2.4	0.4	11.3
	平成22年	0.9	1.9	4.0	1.6	1.7	0.5	10.6
輪西地区	平成25年	1.3	2.8	3.2	1.7	0.9	0.4	10.3
	平成22年	1.7	2.1	4.0	1.3	0.8	0.5	10.3
東地区	平成25年	0.6	1.9	3.6	2.1	1.7	0.6	10.3
	平成22年	1.3	2.5	4.0	0.9	0.8	0.5	10.0
中島地区	平成25年	0.8	2.4	3.2	0.9	2.1	0.6	10.0
	平成22年	0.6	3.5	4.6	1.7	0.6	0.5	11.6
高砂地区	平成25年	1.3	1.7	4.7	2.4	1.9	0.2	12.2
	平成22年	0.6	2.8	4.9	1.1	1.1	0.5	11.1
本輪西地区	平成25年	0.2	2.3	3.4	2.3	3.2	0.8	12.0
	平成22年	1.3	2.5	4.6	2.5	0.6	0.2	11.7
白鳥台地区	平成25年	0.2	1.7	4.3	2.1	0.9	0.0	9.2
	平成22年	0.9	1.3	4.7	2.1	1.7	0.3	11.1
総計	平成25年	6.8	19.0	34.4	17.1	19.0	3.8	100
	平成22年	10.1	20.9	39.1	15.0	10.3	4.6	100

（２） 地元商店（街）を利用しない理由（複数回答）

また、地元商店（街）の利用しない理由について尋ねたところ、「１カ所で買物が済まない」が１９．５％と最も多く、次いで「品揃えが少ない」が１７．３％、「魅力ある商品が少ない」と「価格が高い」が、それぞれ１１．９％となっています。

前回調査と比べて、「品揃えが少ない」が７．３ポイント増加し、「商店街に活気が無い」が２４．４ポイント減少となっています。

理　由	平成25年	平成22年	増減	理　由	平成25年	平成22年	増減
	%	%	%		%	%	%
1ヵ所で買物が済まない	19.5	14.7	4.8	品質･鮮度が良くない	4.0	3.2	0.8
品揃えが少ない	17.3	10	7.3	楽しみが少ない	3.2	3.7	△ 0.5
魅力ある商品が少ない	11.9	8.9	3.0	日曜日に開いていない	2.9	2.6	0.3
価格が高い	11.9	9.5	2.4	閉店時間が早い	2.2	2.6	△ 0.4
店に入りにくい	7.2	5.3	1.9	接客態度が良くない	1.4	0.5	0.9
商店街に活気が無い	5.1	29.5	△ 24.4	商品情報が乏しい	1.4	1.6	△ 0.2
駐車場が無い	4.7	3.2	1.5	店の雰囲気が暗い	1.1	0.5	0.6
その他	4.3	4.2	0.1	店に清潔感がない	0.7	0	0.7

９　商店街に対する期待

（１）　商店街空き店舗に求める店舗及び施設（複数回答）

商店街空き店舗に求める店舗及び施設について尋ねたところ、「衣料品店」が１８．９％と最も多く、次いで「飲食店」が１８．１％、「食料品店」が１７．１％となっています。

前回調査と比べると、「飲食店」が４．１ポイント、「衣料品店」が２．８ポイント、「食料品店」が０．２ポイント増加となっています。

空き店舗に求める店舗･施設	平成25年	平成22年	増減
	%	%	%
衣料品店	18.9	16.1	2.8
飲食店	18.1	14.0	4.1
食料品店	17.1	16.9	0.2
交流サロン	9.1	0.0	9.1
地域の集会所	8.1	12.6	△ 4.5
コンビニエンスストアー	7.5	6.8	0.7
チャレンジショップ	4.8	3.9	0.9
ギャラリー	4.7	6.3	△ 1.6
保育サービス施設	3.6	5.5	△ 1.9
その他	3.8	6.6	△ 2.8
エコステーション	0.0	11.3	△ 11.3
未回答	4.4	0.0	4.4
合計	100	100	0.0

※交流サロンは今回調査、エコステーションは前回調査までの項目となっています。

（２） 商店街の活性化のために必要なサービス（複数回答）

商店街の活性化のためにどのようなサービスが必要だと思うかについて尋ねたところ、「個性的な商品やサービスの提供」が１４．６％と最も多く、次いで「駐車場の整備」が１１．９％、「高齢者支援サービス」が１１．７％となっています。

前回調査と比べて、「高齢者支援サービス」が５．４ポイント、「個性的な商品やサービスの提供」が１．７ポイント、「大売り出し」が１．２ポイント増加となっています。

商店街活性化に必要なサービス	平成25年	平成22年	増減
	%	%	%
個性的な商品やサービスの提供	14.6	12.9	1.7
駐車場の整備	11.9	13.4	△ 1.5
高齢者支援サービス	11.7	6.3	5.4
大売り出し	11.0	9.8	1.2
イベント	10.0	10.3	△ 0.3
ポイントカード	7.6	11.6	△ 4.0
無料買い物バスの運行	7.0	6.4	0.6
マップ等によるお店の紹介	6.3	7.2	△ 0.9
宅配･御用聞きなどのサービス	5.4	5.2	0.2
地域の環境の美化	4.1	4.7	△ 0.6
営業時間の延長や統一	3.9	4.8	△ 0.9
地域の伝統･文化の保全、育成	2.0	3.8	△ 1.8
子育て支援サービス	1.5	2.7	△ 1.2
その他	0.8	1.0	△ 0.2
未回答	2.2	0	2.2
合計	100	100	0

（３） 商店街あるいは個店に求める役割（複数回答）

商店街あるいは個店に求める役割を担うべきか尋ねたところ、「商品情報の提供」が２２．０％と最も多く、次いで「高齢者への社会福祉的役割」が１７．２％、「地域の賑わいの創出」が１６．４％となっています。

前回調査と比べて、「地域の賑わいの創出」が４．４ポイント、「町内活動など地域活動の担い手」が４．１ポイント、「まちの顔としての役割」が２．７ポイント増加となっています。

商店街･個店に求める役割	平成25年	平成22年	増減
	%	%	%
商品情報の提供	22.0	27.8	△ 5.8
高齢者への社会福祉的役割	17.2	27.1	△ 9.9
地域の賑わいの創出	16.4	12.0	4.4
まちの治安や防犯	13.6	13.8	△ 0.2
町内活動など地域活動の担い手	12.1	8.0	4.1
まちの顔としての役割	9.5	6.8	2.7
まち並みや歴史的資産の保存	3.6	2.1	1.5
地域の歴史･文化の担い手	1.7	1.4	0.3
その他	1.2	1.0	0.2
未回答	2.7	0.0	2.7
合計	100	100	0

（４） 高齢化社会などに対する商店街に必要な取組み（複数回答）

高齢化社会などに対する商店街に必要な取組みについては、「少数販売やバラ売りなどの販売方法」が３０．１％と最も多く、次いで「宅配サービスの強化」が２６．３％、「無料買い物バスの運行」が１５．０％となっています。

高齢化社会などに対する商店街に必要な取組み	平成25年
	%
少量販売やバラ売りなどの販売方法	30.1
宅配サービスの強化	26.3
無料買い物バスの運行	15.0
高齢者との交流･コミュニケーションの機会の提供	10.6
道路と店舗の段差解消などの安全対策	8.6
陳列方法や値札の大きさなどの店の改善	6.4
未回答	3.0
合計	100.0